

「大人になっても

竜王町で暮らし続けるために

今と未来の自分たちにできること」

竜王町 こども まんなか 会議 2025

RYUOH TOWN KODOMO

MANNAKA KAIGI 2025



竜王町子どもまんなか会議とは？

竜王町子どもまんなか会議は、竜王町に住んでいる小学生・中学生・高校生が主体となり、地域の課題を考え、解決策を提案し、発表する場です。

目的

子どもたちが「自分たちの住みたい竜王町」を一緒に考える。

地域の課題を調査し、解決策を提案する。

提案内容を町の大人たちに発表し、地域に還元する。

【2025年のテーマ】 WHAT WE CAN DO NOW AND IN THE FUTURE.

まちの未来は、子どもたちの声から始まる。 自分たちのなかにある町の“なんで？” や“こうしたい”をみんなで話そう！

2025年の竜王町子どもまんなか会議は、みんなの声を町に届ける会議です。
町のことを「自分ごと」として考え、いろんな人と話して地域をよくするアイデアを出しました。
最後は「こども議会」で発表しました。

SCHEDULE

- 第1回 08.19 キックオフミーティング
- 第2回 09.20 なぜ？を考える
- 第3回 10.26 町の人と対話する
- 第4回 11.23 提案書をつくろう
- 第5回 12.20 竜王町こども議会

01

お姉さん役の 大学生サポーターが大活躍！

「ちょっと緊張しちゃう…」という子も大丈夫。
子どもたちと近い感覚を持った大学生サポーターが、頼れるお姉さん役として、優しくグループをサポートしました。

02

フラットな意見交換で、 町の課題がクリアに！

年齢や立場の違いを超えて、みんなで「竜王町の未来」を語り合う中で、子どもたちの考えが磨かれただけでなく、「町の課題ってこんなところにもあるんだ！」と新たな発見が続出。

竜王町 こども まんなか 会議 2025

RYUOH TOWN KODOMO
MANNAKA KAIGI 2025

CONTENTS

- P03 第1回 キックオフミーティング
- P04 第2回 なぜ？を考える
- P05 第3回 町の人と対話する
- P06 第4回 提案書をつくろう
- P07 第5回 竜王町こども議会
- P10 子どもたちの声
会議後のアンケート



キックオフミーティング

未来を考える第一歩、みんなで竜王町をもっと知ろう

「竜王町のなかで私が気になっていることはなんだろう？」
 普段はあまりじっくり考えないけど、そう言われれば気になっていることや参加者それぞれが気になることを書き出しました。それをみんなで共有しながらグルーピングしたものが、その後のテーマ設定の土台に！
 最終回のこども議会で発表するため、改めて「議会とは何か？」を議会事務局の方にレクチャーいただき、議会の役割や町民の声を届ける仕組みを学びました。

開催日時：2025年8月19日(火) 14:00～16:00 場所：竜王町役場・議場
 参加者：小学生・中学生・高校生・大学生サポーター・町職員・町議会議員
 目標：仲間と出会う・町と議会を知る

PROGRAM 2025.08.19 TUESDAY

オープニング

- プロジェクト概要説明。
- グランドルールの共有。
(例：誰もが等しく参加する、否定しないなど)

アイスブレイク

- 自己紹介リレー。(名前、趣味、最近ハマっていることなど)

議会ってなんだろう

- 議会事務局の方より議会の仕組みについてレクチャー。
- 議場見学。

ワーク① 「気になることを書いてみよう」

- 町のことや普段の生活のことで、気になっていることを書き出す。

ワーク② 「グループで取り組むテーマを決めよう」

- 書き出した関心事をテーブルに並べてグルーピング。
- 取り組みたいテーマを決める。

成果発表

- 各グループのグルーピング結果を共有。

クロージング

- 次回の内容案内と宿題の確認。

第1回会議
各グループのテーマ

Aグループ テーマ「交通と環境」

「行きたい場所があっても行けない／使えるはずの交通が使われていない」ことが、子どもの機会を狭めている。

Bグループ テーマ「交通網」

近くに寄れるお店や場が少なく移動もしづらいため、買い物も交流も「遠い」日常になっている。

Cグループ テーマ「イベント企画」

夏祭りなど「みんなで楽しむ機会」が少ないので、子どもが主役の体験イベントを増やしたい。

Dグループ テーマ「遊び場・道路環境・交通」

遊び場の少なさと道の歩きにくさ・暗さ、移動手段の不便さが重なって外に出にくい。

みんなで話し合えて楽しかった！

同じような意見が多く、不便だと思っているのは自分だけじゃないと分かった！



なぜ？を考える

私たちが考える竜王町の課題と理想

前回の会議での気になるテーマをもとに、「現状の課題」はなぜ起きているのか理由をみんなで掘り下げました。大学生のサポートも受けながら、グループに分かれて対話を展開。
 各グループでこうなったらいいなという竜王町の姿を言語化しました。

開催日時：2025年9月20日(土) 15:00～17:00 場所：竜王町公民館
 参加者：小学生・中学生・高校生・大学生サポーター・町職員・町議会議員
 目標：チームでテーマを深掘りし、具体的な課題や理想像を整理する。提案に向けた基礎を固める。

PROGRAM 2025.09.20 SATURDAY

オープニングと目的説明

- 前回の振り返りと、今回の目標を共有。

アイスブレイク

- 「グループ内共通点さがし」チーム内の共通点を多く探すチーム対抗ゲーム形式。

ワーク①「なぜ？」の掘り下げ

- 前回のまとめを見ながら付箋に「なぜ」を書き出し、模造紙に整理。

ワーク②「こうなったらいいな」

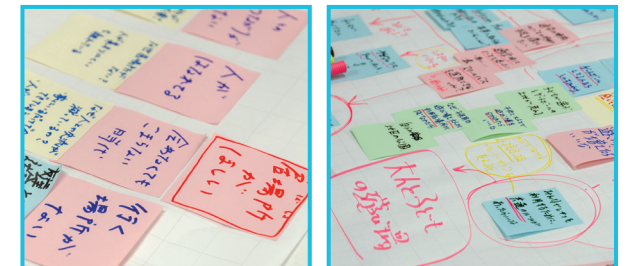
- こうなったらいいなという竜王町の姿を付箋に書き、模造紙にまとめる。

グループ発表

- 各グループのまとめを共有する。

クロージング

- 各自振り返りと次回の案内。



TALKING WITH THE LOCALS

町の人と対話する

町の背景を知り、理解を深める

この日は地域の専門家として役場担当者の方々が登場！
「聞く・知る」時間として、役場担当者からまちのしくみや現状のお話を聞き、聞いた話の感想のシェアや、作成した質問をぶつけながら理解を深める貴重な機会でした。

開催日時：2025年10月26日(日) 15:00～18:00 場所：竜王町公民館
参加者：小学生・中学生・高校生・大学生サポーター・町職員・町議会議員・役場担当者
目標：役場担当者へのインタビューを通じて、新しい視点や具体的なアドバイスを得る。

PROGRAM

2025.10.26 SUNDAY

オープニングと目的説明

- 前回の振り返り
- 会議の流れやグループインタビューの進め方を共有。

アイスブレイク

- 声と表情だけで表現するゲームをゲストの大人と一緒にプレイ。

ワーク① 「質問づくり」

- 各自質問を考える。
- グループで質問や理由を共有。

ワーク② 「役場担当者に聞いてみよう」

- 担当者からお話を聞く。
- グループで感想をシェア。
- 用意した質問や追加の質問をする。

ワーク③ 「役場担当者と一緒に考えよう」

- みんなでまちの未来について話す。
- 全員で感想をシェア。

まとめと次回予告

- 今日の成果を振り返り、次回の提案書作成に向けた準備を確認。

Aグループ(交通 × 遊び場)

チョイソコを「もっと使やすく、知ってもらうには？」を中心に話し合い、移動の困りごとを整理した。公園は「水遊びができる・日陰がある・座れる」など、みんなが過ごしやすい場所にするためのアイデアが出た。

Bグループ(店・人口・交通)

「お店が少ない」「移動が大変」など、暮らしの不便さから町の課題を考えた。これからは、行事に参加したりSNSで発信したりして「竜王町の好き」を増やしたい、という方向が見えた。

Cグループ(イベント)

夏祭りなどのイベントがどうやって成り立っているかを知り、「やるには人手もお金もいる」ことを学んだ。若い世代にも届くように、SNSや学校のタブレットで町の魅力を発信したいというアイデアが出た。

Dグループ(交流場所)

「安心して集まれる場所」をテーマに、公民館などで実際に取り組まれている工夫を聞いた。もっと知られるように自分たちも発信したり、意見を届けやすい仕組みがあったりするといい、という声が出た。



LET'S CREATE A PROPOSAL

提案書をつくろう

これまでのグループワークの成果を、提案書にまとめる

いよいよ提案書の完成に向けた総仕上げの日。
これまでの成果を「現状」「理想」「解決策」にまとめ、プレゼンテーションの練習もしました。
自分たちのアイデアを伝えるための準備に熱が入った一日でした。

開催日時：2025年11月23日(日) 15:00～18:00 場所：竜王町役場・議場
参加者：小学生・中学生・高校生・大学生サポーター・町職員・町議会議員
目標：グループで提案書を完成させ、発表に向けた準備を整える。

PROGRAM

2025.11.23 SUNDAY

オープニング

- 前回までの振り返りと、発表準備の流れを共有。

アイスブレイク

- 1分間近況報告。
嬉しかったことや頑張ったことをシェア。

グループワーク① 「赤入れ(編集)タイム」

- 前回の会議でまとめた意見を提案書案として作成。
みんなで発表に向けた赤入れを実施。

グループワーク② 「提案書作り」

- 提案書ワークシートを使って、以下を整理。
気づき、現状と課題、提案、提案理由、町の人への質問。

発表練習

- 議会に向けて発表練習。実際に議場でも立ち位置などを確認したりハーサルを実施。

まとめと次回の予告

- 今日の成果を振り返り、最終回に向けた準備内容を確認。



竜王町こども議会

開催日時：2025年12月20日(土)

最終日のこども議会は、町役場や地域住民を前にしたドキドキの本番！

こども議員として参加した子どもたちは、まちの課題や気づきから考えた提案を発表しました。当日は、本当の議会のように、町長・副町長・教育長や町の担当者の方々と質問・回答、再質問のやりとりも行われ、提案の内容を深めていく活発な議会となりました。

A-1 グループ | チョイスコをもっと子どもが使える交通に

提案

A-1グループは、交通サービス「チョイスコ」について、学校ではあまり知られておらず、予約の仕組みも子どもにはわかりにくいことに気づきました。そこで、学校でチョイスコの使い方を知る機会をつくることや、子どもも使いやすい運行時間を検討することを提案しました。



議会でのやり取り

町長からは、学校と連携してチョイスコを知る機会をつくってほしいこと、子どもの利用が増えれば運行時間の見直しも検討できることが説明されました。また、「チョイスコを増やすにはどれくらい費用がかかるのか」という質問に対しては、車両1台で年間およそ1,000万円の経費がかかることが紹介されました。



A-2 グループ | もっと安心して遊べる公園に

提案

A-2グループは、公園のルールがわかりにくいことや夏の暑さ、ボール遊びのしにくさなどの課題に気づきました。そこで、公園のルールをわかりやすくすること、草刈りや安全点検を進めること、暑さ対策としてベンチや給水場所を設けること、キッチンカーなどで楽しい場をつくることを提案しました。



議会でのやり取り

町長からは、町が管理している公園のルールは利用者の声を聞きながら見直していけること、新しい公園では給水設備や日陰づくりを進めていることが説明されました。キッチンカーについては町が今年度導入予定であり、普段は道の駅などで活用し、災害時には避難所で利用する計画があることが紹介されました。

また、今回の提案も含めて考えていくことを伝えられました。



B グループ | 公民館をもっと気軽に集まれる場所に

提案

Bグループは、友だちと気軽に集まれる場所が少ないことから、公民館を交流の場として生かす提案を行いました。具体的には、ボードゲームや卓球などができることをわかりやすく案内すること、学校でも公民館の使い方を知る機会をつくることを提案しました。公民館がもっと楽しい場所になれば、人が自然と集まり、将来も竜王町に愛着を持つ人が増えると考えたためです。



議会でのやり取り

教育長からは、公民館ですでにボードゲームやカードゲーム、卓球ラケット等の貸し出し、さまざまな講座やイベントが行われていることが紹介されました。その上で、学校掲示板や昇降口なども活用しながら、これまで以上にわかりやすく知らせる工夫をしてほしいことが伝えられました。やり取り全体を通して、「まず公民館のよさを知ってもらうこと」が大切だという認識が共有されました。



C グループ | 地域でつながり、楽しめるイベントを増やすには

提案

Cグループは、地域でつながりながら楽しめる機会をもっと増やしたいという思いから、学校のグラウンドを活用した学区ごとの小さな夏祭りの開催や、子どもや若者がイベントの企画・運営に関わる仕組みづくり、SNSを使った情報発信の工夫を提案しました。自分たちも準備や運営に関わることで、まちへの関心や参加の輪が広がっていくことを目指した提案です。



議会でのやり取り

学区単位のイベントは身近な地域で参加しやすい取組として前向きに受け止められた一方、人や費用、学校・PTA・自治会との協力が必要であることが示されました。子どもや若者の参加についても、学校と連携しながら体験的な学びとして考えていきたいことが共有され、町長からは、今後の地域を支えるリーダーとしての期待が語られました。



Dグループ

みんなが気軽に集まり、安心して過ごせる交流場所に

提案

Dグループは、人と直接会える場所や、気軽に意見を言える場所が少ないことに着目し、公民館をもっと安心して集まれる場所にする提案を行いました。具体的には、子どもから高齢者まで集まれる日をつくること、たとえば「子ども卓球の日」のような場を設けること、さらに「こんな場所がほしい」「こんな使い方をしたい」という声を届けられる意見箱のような仕組みをつくることを提案しました。



議決でのやり取り

「子ども卓球の日」はとてもよいアイデアであり、すぐに実現できるかはわからないものの、今後ぜひ考えてみたいという前向きな回答がありました。また、「公民館に声を届ける仕組み」については、現在は町のホームページに「町長への手紙」という仕組みがあり、メールや窓口、手紙でも意見を伝えられることが説明されました。そのうえで、意見箱については、まず公民館には設置する方向が示され、ほかの施設への設置は今後検討していくことになりました。



総括

4グループによる提案と質疑応答を終え、竜王町子ども議会は無事に幕を閉じました。子どもたちは町からの回答に再び質問を投げかけ、町長をはじめとする大人たちも熱い思いを込めて感想や考えを伝えるなど、予定時間を超えるほど活発な対話の場となりました。



CHILDREN'S

子どもたちの声

VOICES

この会議を通して、町について「はじめて知ったこと」や「気づいたこと」は？

竜王町には、よさもたくさんあるし、課題もあるから、自分たちにもできることがあるんだと気づきました。
(中学1年生)

私が知らないだけでやっていることがたくさんあった。また自分たちにもできることがたくさんあることがわかりました。
(小学5年生)

友だちや家族、先生にこの「こどもまんなか会議」のことを教えるとしたら、どんな会だと伝えますか？

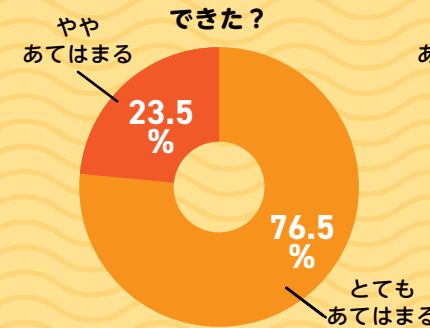
自分の意見を言えて、みんな優しく、竜王町のことを改めて知れる会。
(小学5年生)

町のために活動できた。それが将来の自分のためにもなる貴重な会議だった。
(高校1年生)

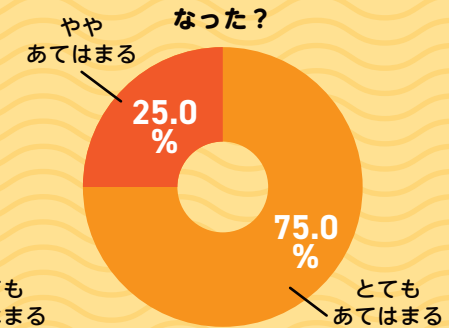
自分の意見を真剣にきいてもらえる場所。
(中学2年生)

会議後のアンケート

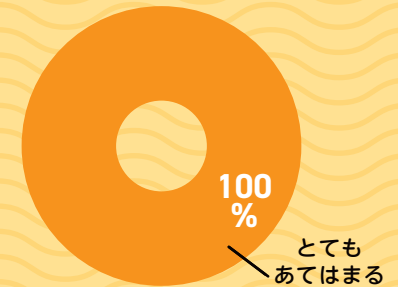
竜王町のことを「自分で考える」ことができた？



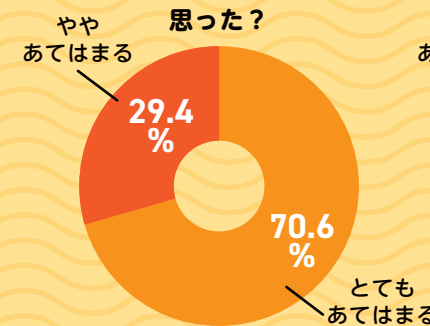
町のことが前よりわかるようになった？



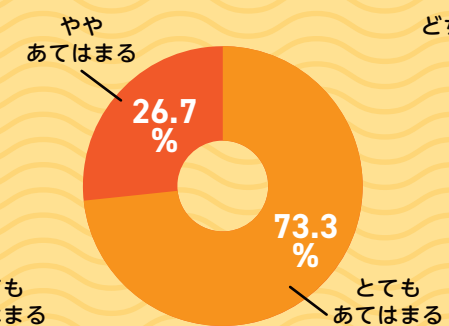
町の議場で意見を伝えたことはよい体験だった？



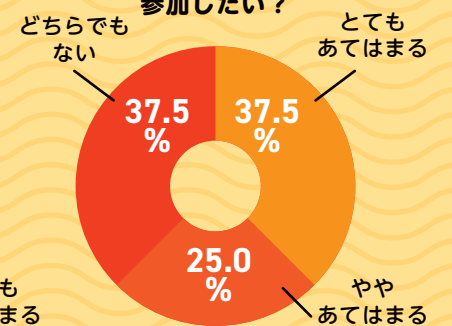
ほかの人の意見を聞いて「そういう考えもある」と思った？



参加してよかった？



またこの会議に参加したい？



凡例： ■ とてもあてはまる ■ ややあてはまる ■ どちらでもない ■ あてはまらない

RYUOH TOWN KODOMO MANNAKA KAIGI 2025

お問い合わせ

担当窓口：竜王町役場 健康推進課
〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地

TEL：0748-58-1006

Eメール：kenko@town.ryuoh.shiga.jp

活動報告はこちら



主催 竜王町役場 健康推進課 協力 NPO法人ナイマゼ

